

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議について、委員の方々の事情もあり、規定の年間開催回数を実施できていない。	利用者やその家族、地域住民の方々、行政、その他の関係者の協力を得て、運営推進会議を定期開催し、利用者への処遇向上につなげていく。	現状加入していない自治会へ加入させていただき、地域住民の方々へ向けて地域密着型の福祉施設について、サービス内容や地域資源としての意義を周知していく。そういった関係づくりの結果として、運営推進会議への協力を依頼していく。	12ヶ月
2	33	終末期の対応について、現状では積極的な看取りは実施せず、協力医との連携を図りながら、病院への入院や特養ホームなどへの入所の支援をしている。	今後の様々なニーズへ対応していくために、終末期に関して職員のスキルアップを図る。	終末期や看取りをテーマとした外部研修へ積極的に参加し、研修内容については内部研修として全職員に情報を共有する。	12ヶ月
3	35	災害対策としての避難訓練の実施回数が昨年度は1回で、規定の回数(2回)を実施できなかった。	地震や火災など様々な想定における避難訓練を年間2回実施する。	有事の際の避難状況について、地域の自治会へ現状を情報提供し、避難訓練への可能な協力を依頼する。施設が住宅地に立地している状況を踏まえた、より実践的な訓練となるようはたらきかけていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。